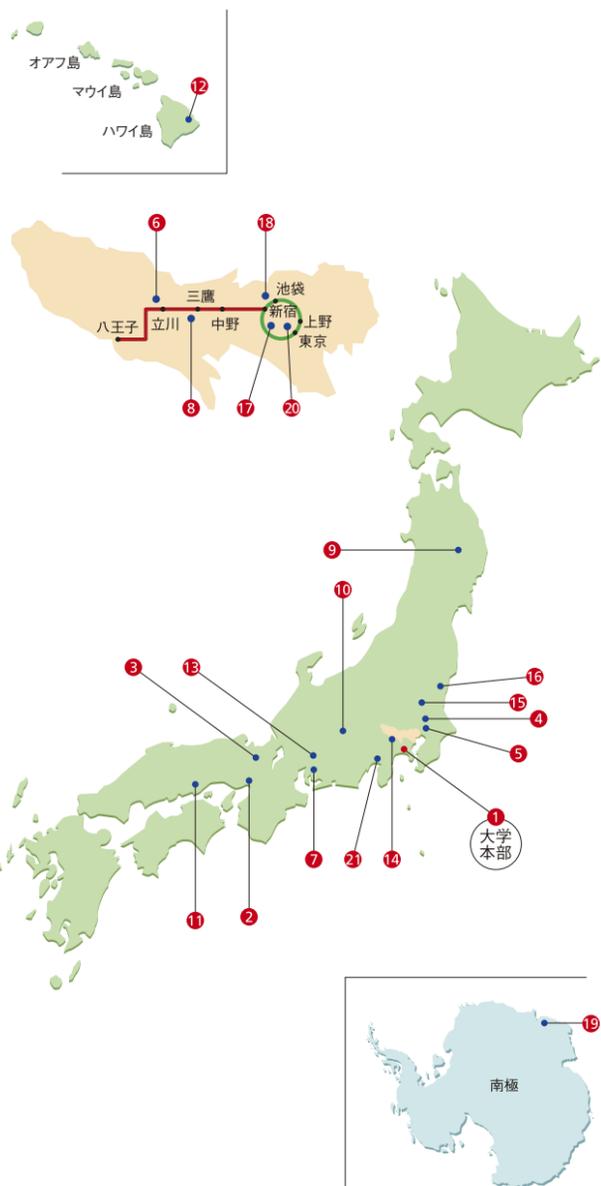


総合研究大学院大学の概要

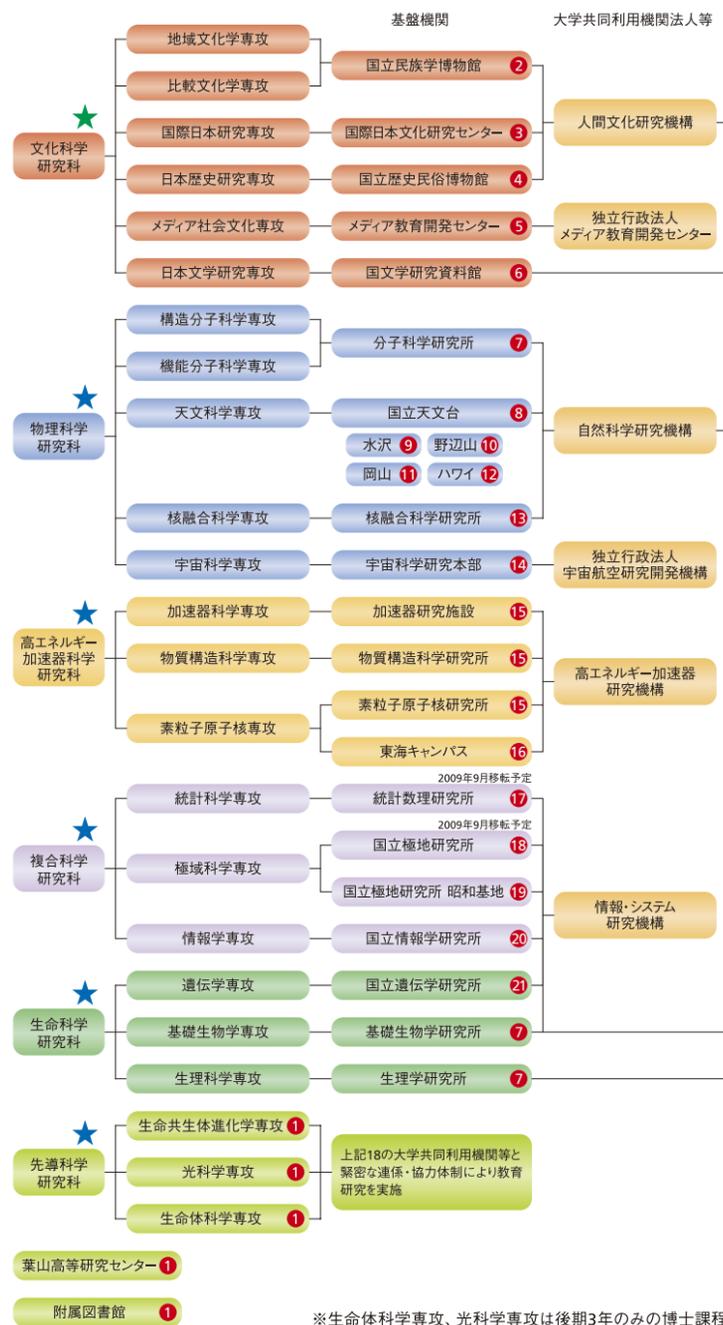
総合研究大学院大学(総研大)の基盤は大学共同利用機関です。大学共同利用機関は日本が世界に誇るトップレベルの研究組織で、各種の大型の実験・観測施設および学術資料を保有しています。国内外の大学研究者が共同で利用できる国際的な研究拠点でもあり、多様な研究者集団と接する研究環境がつくられています。

総研大では、学生1人に対し教員数は2~3人という充実した体制で博士教育をおこなっており、その期間についても5年一貫のフレキシブルな制度を取り入れています。



★ 後期3年だけの博士課程

★ 5年一貫制博士課程 / 後期3年だけの博士課程



SOKENDAIトピックス 2008年3月~2008年8月

※トピックスの詳細は<http://www.soken.ac.jp/education/journal/no.14/no.14.html>で紹介しています。

- 国際日本研究専攻 ③ 隋唐時代を中心に、中国と日本を軸とした古代東アジアの国際交流を明らかにする共同研究。
- メディア社会文化専攻 ⑤ 「教員のICT活用指導力の基準」に適合した教員の指導力とICTスキルの向上を図る「教員研究Web総合システム」を堀田龍也准教授らが開発。
- 構造分子科学専攻 ⑦ 長谷川宗良助教・大島康裕教授の研究グループが、分子回転の量子波束を決定することに初めて成功した。
- 機能分子科学専攻 ⑦ 準単色波長可変のテラヘルツコヒーレントシンクロtron光の発生に加藤政博教授らが成功。
- 核融合科学専攻 ⑬ 大型ヘリカル装置において、核融合炉の新しい運転領域を切り開く超高密度プラズマの閉じ込めに成功。
- 宇宙科学専攻 ⑭ 太陽観測衛星「ひので」により、コロナからの太陽風の吹き出し口を同定することに初めて成功した。
- 加速器科学専攻 ⑮ J-PARC、50GeVシンクロtronへのビーム入射及び周回に成功。
- 物質構造科学専攻 ⑮ J-PARCの中性子回折実験装置が世界最高の分解能を達成
- 統計科学専攻 ⑰ 中国・四川大地震の「中国地震局 余震解析・予測チーム」に庄 建倉助教(総研大OB)が緊急招聘された。
- 情報学専攻 ⑳ 北本朝展准教授らが中国・北京の250年前の古地図『乾隆京城全図』と現代の地図との重ね合わせに成功した。
- 遺伝学専攻 ㉑ 総研大D5渡部聡朗はマウス卵子の内在性siRNAを発見、機能解析に成功。
- 生理学専攻 ㉒ 「ほめられた」ときの脳の様子を定藤規弘教授のグループが初めて画像にとらえた(Neuron誌4月号に掲載)。